

YP-311

NATURAL SOUND SYSTEM MODEL YP-311
GUIDE MANUAL

ヤマハステレオレコードプレーヤーシステム

取扱説明書



● ご挨拶

このたびはヤマハステレオレコードプレーヤーYP-311をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。

共振を抑えたパーティクルボード一枚板の堅牢なキャビネットで振動をシャットアウト、音の入口にシュア-M-75シリーズを標準備した音質重視のベルトドライブプレーヤーです。

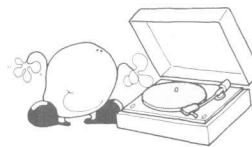
装

YP-311を長年にわたってお使いいただくため、この取扱説明書をご使用前に是非お読みくださいますようお願いいたします。

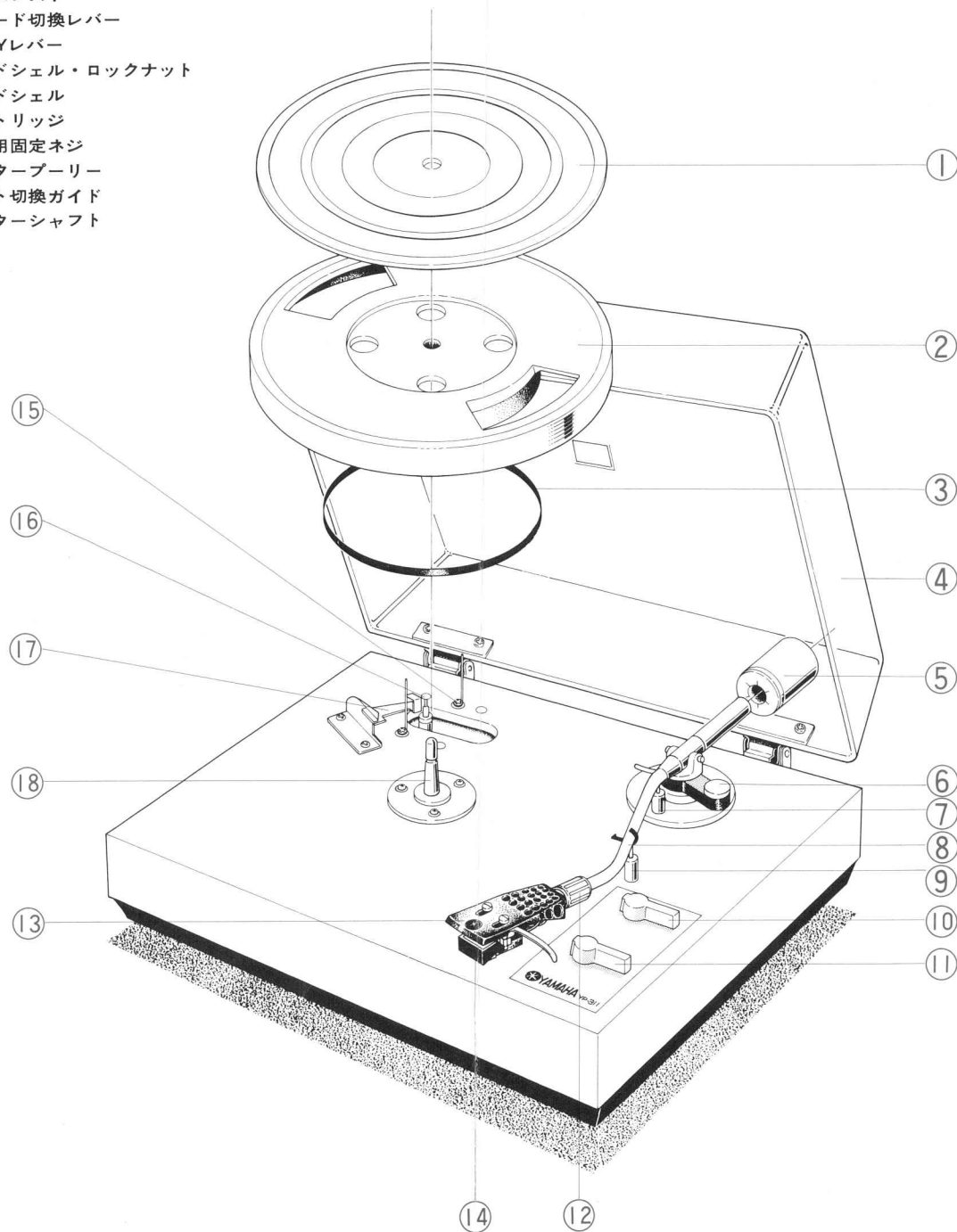
● 目次

プレーヤー各部の名称	3
規格・付属品	4
特長・ご使用になる前に	5
プレーヤーの組立て・ベルトのかけかた	6
トーンアームの組立て・針圧調整のしかた	7
針圧調整のしかた・アンプへの接続	8
レコード演奏のしかた	9
他カートリッジを使用するときは	10
針先の交換	11
故障と思われる時には	12
サービスのご依頼について	13

プレーヤー各部の名称



- ① ゴムシート
- ② ターンテーブル
- ③ 駆動用ベルト
- ④ 上蓋
- ⑤ メインウェイト
- ⑥ インサイドフォースキャンセラー
- ⑦ トーンアームリフター
- ⑧ トーンアーム
- ⑨ アームレスト
- ⑩ スピード切換レバー
- ⑪ PLAYレバー
- ⑫ ヘッドシェル・ロックナット
- ⑬ ヘッドシェル
- ⑭ カートリッジ
- ⑮ 輸送用固定ネジ
- ⑯ モータープーリー
- ⑰ ベルト切換ガイド
- ⑱ センターシャフト



規格・付属品



● 規格

■ ターンテーブル

モーター	4 極シンクロナス(100V)
ターンテーブル径	30cmアルミダイキャスト
回転数	33 $\frac{1}{3}$ 45rpm 2 スピード
駆動方式	ベルトドライブ
SN比	48dB以上
ワウフラッター	0.07%以下

■ トーンアーム

型式	S字スタティックバランス型
トラッキングエラー角	+2.7° -1°
全長/実効長	295/221.6mm
オーバーハング	16.6mm
ヘッドシェル	脱着可EIA 8 g
針圧調整機構	直続方式 0 ~ 3 g(0.5gステップ)

■ カートリッジ

型式	MM型シュアーM75シリーズ
針先	ダイヤモンド0.6mil(交換可)
交換針	シュアーN75-6
適正針圧	2.5g
最適負荷抵抗	47K Ω

■ その他

消費電力	7 W
寸法(W×D×H)	400×389×153
重量	9.4kg
付属品	EPアダプター 六角レンチ

●上記の規格及び外観は改良のため予告なく変更されることがございます。

特長・ご使用になる前に



● 特長

- トレース能力の高いS字型アームの採用とあいまって音の入口にシュアーM-75シリーズカートリッジを標準装備した音質重視の設計。
- 半球ドーム型のダンパー材によるインシュレーターを装備し、外部振動を遮断します。
- インサイドフォースキャンセラーダイヤルの目盛を針圧に合わせるだけで有害なインサイドフォースを打消せます。
- レバー式スイッチの採用により操作が手軽にできます。
- 定評あるヤマハの木工技術と新感覚のデザインを盛りこんだ美しい仕上げのプレーヤーです。

● 次のことにご注意ください

- プレーヤー内部に取りつけてある輸送用固定赤ネジ2本は、プレーヤー組立ての前に必ず外してください。また組立、調整はこの取扱説明書の順序通りに行なってください。
- プレーヤーの設置場所には、水平で振動の少ない場所を選び、直射日光の当たる場所や湿気の多い場所、ホコリの多い場所は避けてください。
- 再生中に、再生音の空気振動や床の振動をプレーヤーが拾いハウリングを起こす場合があります。設置にあたっては、なるべくスピーカーの影響を受けないようご注意ください。
- カートリッジがアンプの電源トランスから「ブーン」というハム雑音を拾う場合があります。カートリッジと電源トランスが接近しないような位置をお選びください。
- 針圧は使用カートリッジの適正針圧に合わせてご使用ください。またレコード演奏の際にカートリッジの針カバーを必ず上げてください。
- 針先のゴミには常にご注意ください。針先についたホコリは音質を悪化させます。
- 木製キャビネットや上蓋をシンナー系の液体で拭いたり、シンナー系の殺虫剤等をプレーヤーの近くで散布したりすることは避けてください。掃除する場合は、柔かい布で乾拭きするようにしてください。
- お買上げいただきました際購入店で必ず保証書の手続きを行なってください。保証期間中にもかかわらず保証書に販売店印がありませんと、万一サービスの必要がある場合に実費をいただくこととなりますので、ご了承の上充分ご注意ください。よろしくお願いいたします。

プレーヤーの組立て・ベルトのかけかた



● 輸送用固定赤ネジの取外し

輸送中の振動や事故等から大切な部分を保護するために本機の2ヶ所を輸送用固定ネジで固定してあります。これらの赤ネジと金具はご使用になる前に必ず取外してください。また取外したネジは引越しや修理依頼など再輸送のときに、再び固定する必要がありますので保存しておいてください。(図1)

(注)輸送用固定ネジを取外さずにご使用になると、ターンテーブルに当り、回転不良を起こす場合があります。

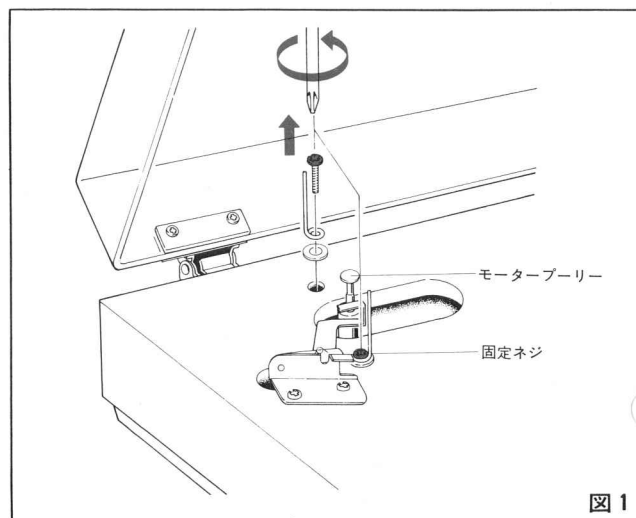


図1

● ターンテーブルの取付け

輸送用固定ネジを取外しましたら、ターンテーブル裏側内周に駆動用ベルトがかけられその一端にリボンがはさまれているか確認のうえターンテーブルをセンターシャフトにはめてください。ターンテーブルの穴に指を入れ、静かに取付けてください。(図2)

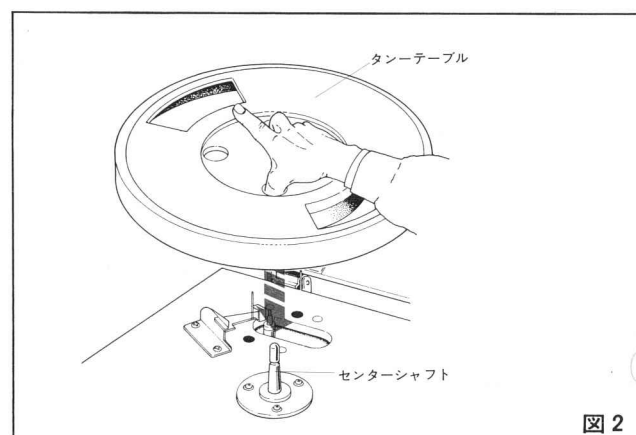


図2

● ベルトのかけかた

- 1 プレーヤーパネル右端のスピード切換レバーを“33”の方に切換えてください。
 - 2 図3のようにベルトにはさまれたリボンの両端を引張ってベルトを伸ばし、ベルト切換ガイドの間を通してモータープーリーの上側にベルトをかけ、リボンを外します。
 - 3 ゴムシートをターンテーブルにのせます。
- (注)ベルトは、必ずベルト切換ガイドの間を通してかけてください。またベルトがねじれないようご注意ください。

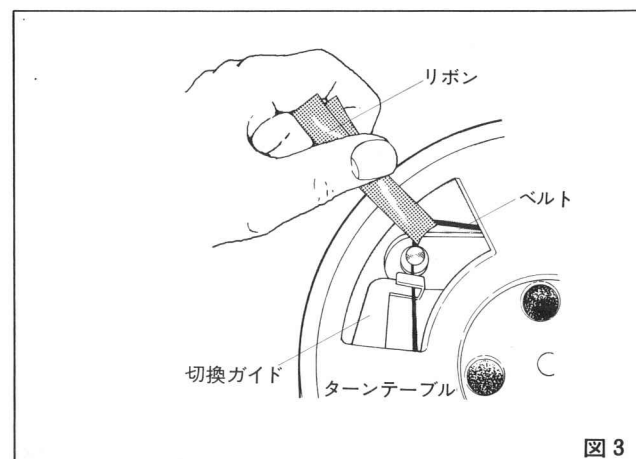
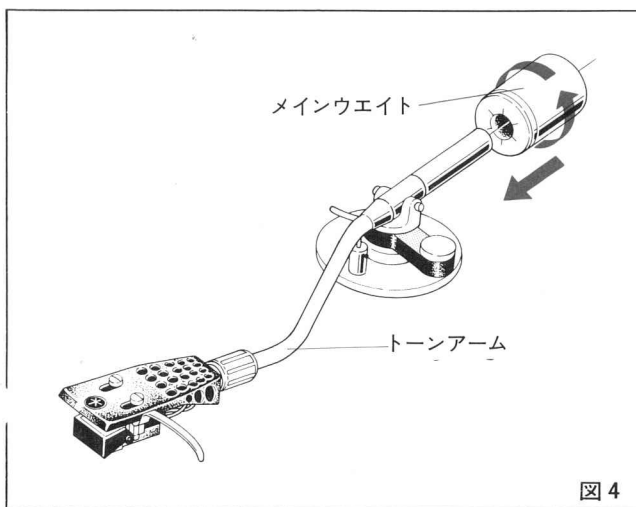
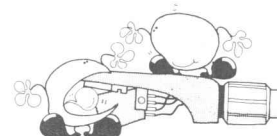


図3

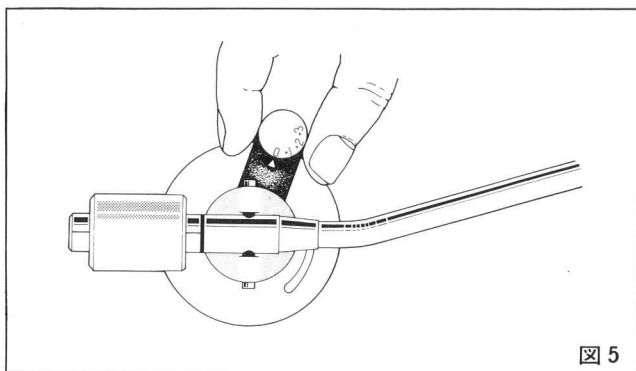
トーンアームの組立て・針圧調整のしかた



● トーンアームの組立

■ メインウェイトの取付

- ① 梱包されているメインウェイトを図4のようにトーンアーム尾部に矢印の方向に回しながら押し込みます。
- ② メインウェイト内部に刻まれた螺旋溝とアーム尾部のストッパーがかみ合い、メインウェイトは、アームを正面からみて反時計方向(左)に回すとトーンアーム基部の(前)に、時計方向(右)に回すと尾部の方(後)にスムーズに移動するようになります。

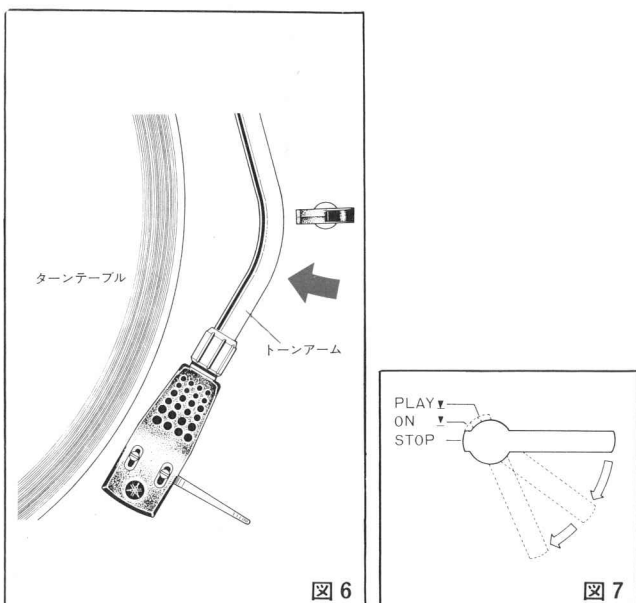


● 針圧調整のしかた

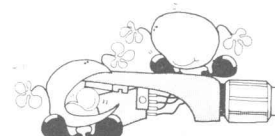
メインウェイトの組立てが完了したら次の手順で針圧の調整をしてください。

付属のカートリッジの適正針圧は 2.5g です。

- ① 針先の保護のため針圧調整終了まで針カバーは上げないでおきます。
- ② インサイドフォースキャンセラーのダイヤルを“0”にします。(図5)
- ③ トーンアームをアームレストからはずし、ターンテーブルとアームレストとの中間ぐらいまで移動させます。(図6)
- ④ プレーヤーパネル右端のPLAYレバーをPLAY(▼)にしますとアームリフターがさがりトーンアームはフリーの状態になります。(図7)

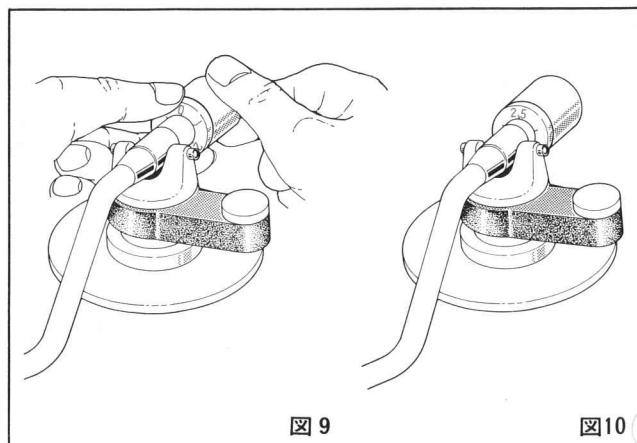
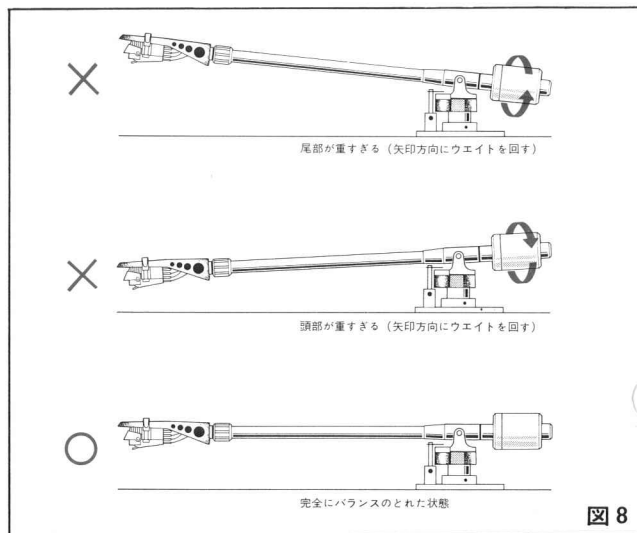


針圧調整のしかた・アンプへの接続



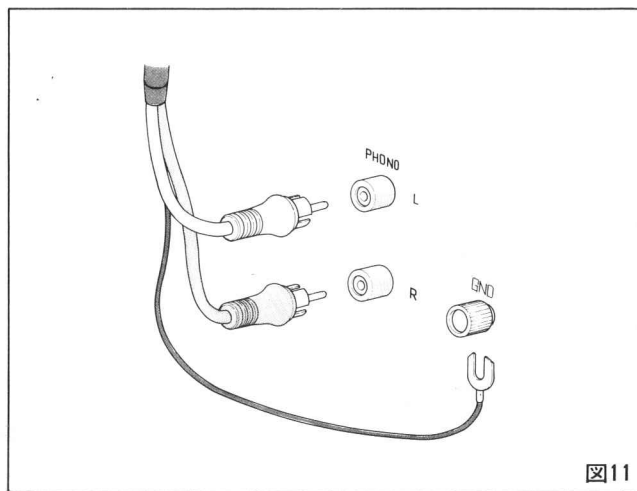
- ⑤ トーンアームが基点を中心に水平バランスするように図8を参考にしてメインウェイトを前後させて調整します。この時メインウェイトはゆっくり回し、バランス具合をみる時はフィンガーから指を軽くはなして見るようにして慎重に調整してください。
- ⑥ バランスがとれた後、トーンアームをアームレストに戻します。
- ⑦ メインウェイトが動かないように、メインウェイト前部のカウンターリングだけを回して数字の0をトーンアーム軸のセンターラインに合わせます。(図9)
- ⑧ メインウェイト後部を回しますとカウンターリングも一緒に回りますので、メインウェイトを反時計方向に回してカウンターリングの数字2.5をトーンアーム軸のセンターラインに合わせます。(図10)
- ⑨ インサイドフォースキャンセラーダイヤルを2.5に合わせます。

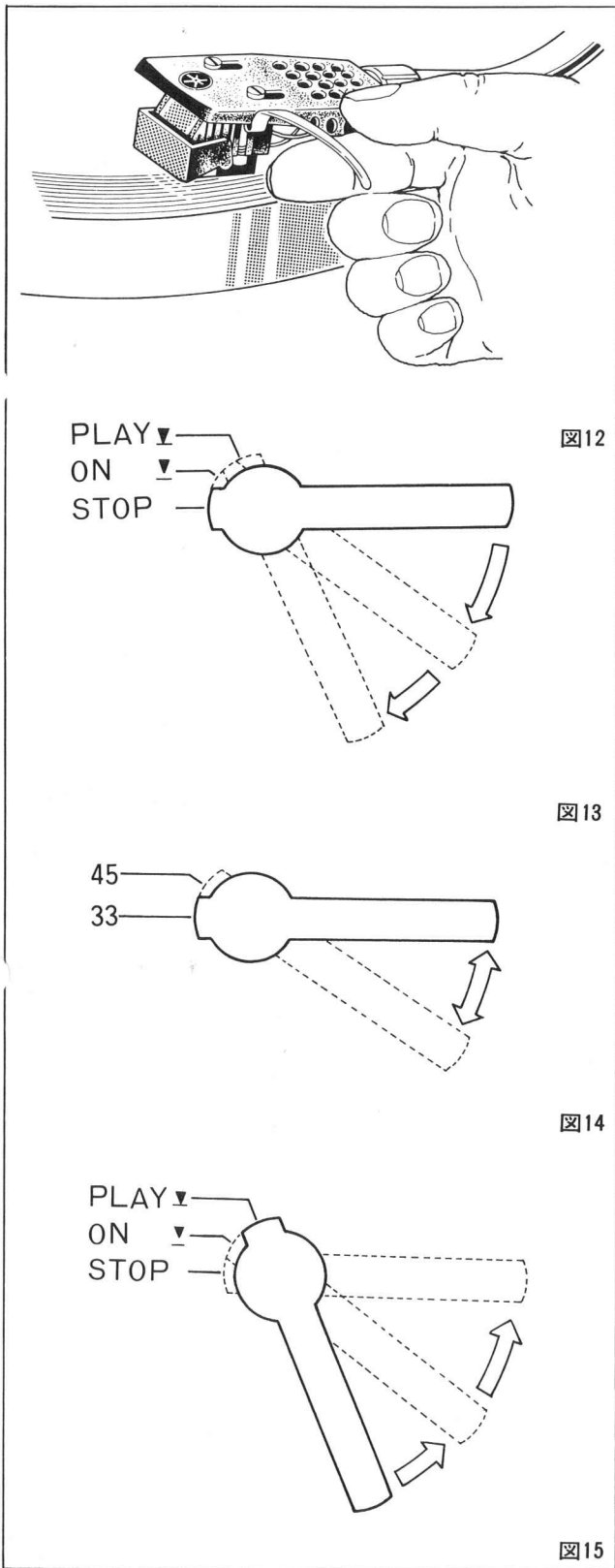
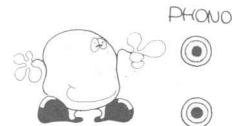
以上の操作で正しい針圧がとれたわけですが、カートリッジを交換したり、誤まってメインウェイトを動かした場合は以上の操作をやりなおして針圧をとり直してください。



● オーディオアンプへの接続

- ① キャビネット背面より出ている出力コードのL、Rを間違えないように、アンプリアパネル面PHONO端子へ接続します。ピンジャック白がLチャンネル、赤がRチャンネルです。
- ② 出力コードより出ている黒のアース線をアンプのGND端子へ接続します。場合によっては接続しない方がハムに対してよい結果を得られることがあります。(図11)
- ③ プレーヤーの電源プラグをA.C.コンセント(又はアンプリアパネル面予備電源コンセント)に接続します。





●レコード演奏のしかた

- ①接続したオーディオアンプのファンクションスイッチをPHONOにします。
- ②演奏するレコードをターンテーブルに乗せます。レコードがドーナツ盤の場合は、付属の45 RPMアダプターを使用してターンテーブルに乗せます。
- ③トーンアームのカートリッジの針先をレコード面上のお聴きになりたい位置にもってゆきます。(図12)
- ④PLAYレバーをON(▼)の位置にします。ターンテーブルが回り始めましたら回転数がレコードの回転数に合っているかどうかを確認し、違っている場合はスピード切換レバーを正しい回転数に合わせます。(図13,14)
- ⑤PLAYレバーをPLAY(▼)の位置にしますとアームは静かにレコード面上に降りレコード演奏がはじまります。(図13)

■レコード演奏終了および途中でやめたときは……

レコード演奏を終了および途中でやめたいときは、PLAYレバーをON(▼)の位置にしますとトーンアームがレコード面より離れます。レバーをSTOPの位置にしますとモーターが停止します。トーンアームをアームレストに戻します。(図15)

他のカートリッジを使用するときは

●他のカートリッジを使用するときは…

トーンアームのヘッドシェルは交換可能ですので、EIA規格のヘッドシェルなら付属のものと交換して使用することができます。

■使用できるカートリッジの寸法と自重

YP-311のシェルを使用の場合は、カートリッジの高さが15~21mm以内のも（図16）、他のシェルを使う場合は自重はシェルとカートリッジを合わせた全重量が12~21gまでのものが使用できます。

（注）交換したカートリッジの針圧調整は針圧の調整の項に従って正しくとります。

■トーンアームの高さ調整

他のカートリッジなどの使用によりトーンアームがレコード面と水平がとれない場合、調整してください。

①ターンテーブルにレコードをセットし、針先をレコード面におろした時、アームとレコード面が平行になる様に付属の六角レンチで軸受部の固定ネジ2本をゆるめ、シャフトを上下して下さい。平行がとれましたら、固定ネジ2本をしっかり締めてください。（図17）

（注）この調整は針先及びレコード面を傷める恐れがありますので、調整はアームをアームレストにもどした状態で行なって下さい。

②STOP状態の時、針先の高さがレコード面より5~7mmになる様、アームリフターのネジを調整します。

③トーンアームの平行調整が終了したら、トーンアームをアームレストに戻し、アームレストの高さをアームがプレイヤーボードと平行になる位置に調整して下さい。

■ヘッドシェルへの取付け

シェル内のリード線は図18のようになっていますのでカートリッジの各ピンに正しく接続してください。

■オーバーハングの寸法

トーンアームのオーバーハングは16.6mmに設計されています。取付穴が楕円になっていますので取付カートリッジの寸法によってオーバーハングが図19のように16.6mmに近くなるように取付けてください。

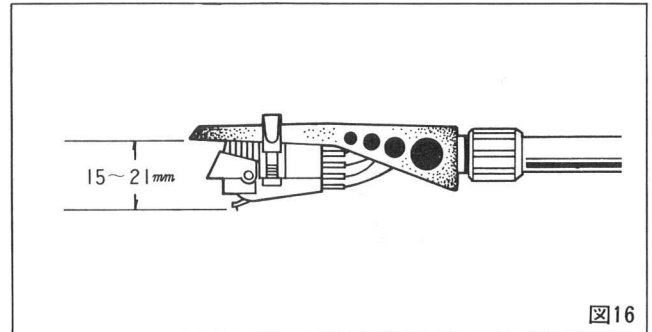


図16

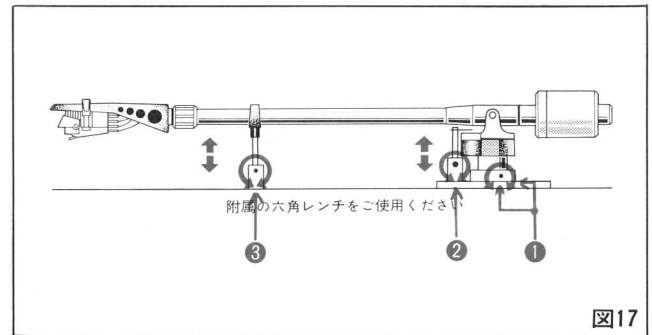


図17

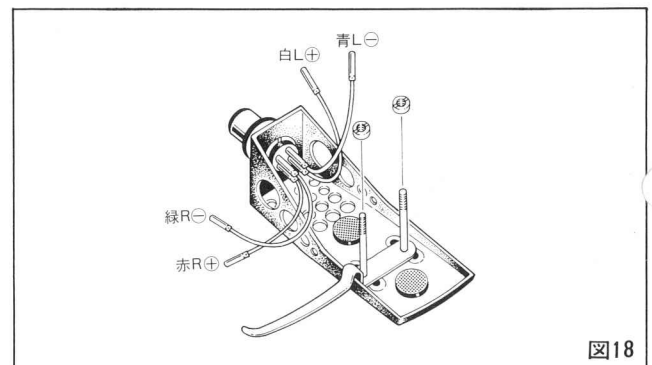


図18

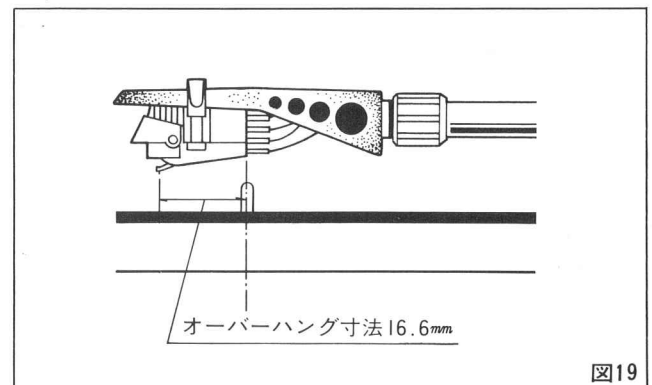


図19

針先の交換

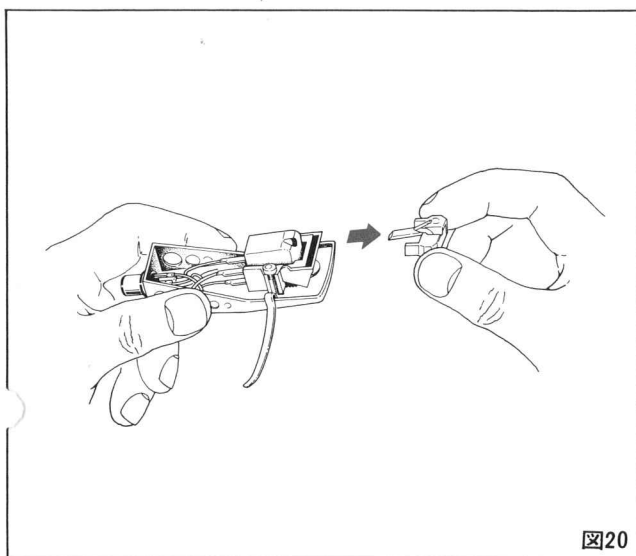


図20

●針先の寿命と交換のしかた

針先はダイヤ針を使用しています。寿命はご使用になるレコードの状態によって異なりますが、200～300時間が平均です。針先が磨耗すると音が歪んだりビリついたりする上レコードを傷める原因にもなりますので、針先は早めに交換してください。交換針はヤマハステレオ特約店に用意されていますので、YP-311用・シュア-N-75-6とご指定ください。

■針先の交換

- ① トーンアームからヘッドシェルをを外します。
- ② 古い針先ホルダーを手前に引いて取外します。(図20)
- ③ 新しい針先を②と逆の方法でしっかりさしこみます。
- ④ ヘッドシェルをトーンアームに取付けます。

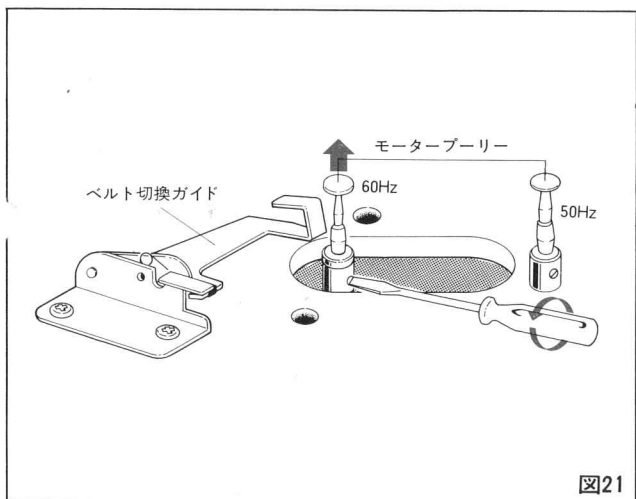


図21

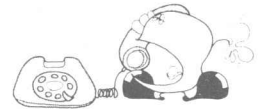
●異なる電源周波数地域で ご使用になるときは……

お買い求めの後に移転などで異なる電源周波数地域でご使用になる時は、モータープーリーを交換する必要がありますので最寄りのヤマハ特約店か日本楽器各支店オーディオ技術係にご連絡ください。

■モータープーリー交換方法

- ① ターンテーブルを外し図21のようにモータープーリー側面のネジをゆるめて上に引張り外します。
 - ② 新しい交換用モータープーリー(60Hz用には溝が刻んであります)をはめます。
 - ③ ベルト切換ガイドを33回転の状態にした時、ベルトがベルト切換ガイドに触れない位置にプーリーを固定します。(図21)
- (注)手のよごれや油がプーリーに付着しないようにご注意ください。

故障と思われる時には……………



本機をご使用中に正常に動作しなくなった時は、次の事項をご確認ください。そのうえで正常に動作しない、あるいは疑

問の点がございましたら、お買上げ店又は日本楽器各支店のオーディオ技術係にサービスをご依頼ください。

症 状	原 因	処 置
PLAYレバーをONにしてもターンテーブルが回転しない	電源コードが電灯線コンセントにしっかり差込まれていない	コンセントにしっかり差込み直す
	ベルトをかけ忘れている	ベルトをモータープーリーにかける
	ベルトがはずれている	ベルトをターンテーブル、モータープーリーにかける
	ベルトが切れている	ベルトを交換する
レコード面に針先を降ろしても音が出ない	アンプとの接続が不完全	ピンコードの接続を確認する
	交換したカートリッジの寸法が適切でないため、カートリッジの腹がレコード面に当たっている	適切な寸法のカートリッジに付け直す (*他カートリッジを使用するときの項参照)
ターンテーブルの回転が遅かったり、回転ムラ(ワウ・フラッター)が起こる	ターンテーブル外周やモータープーリー、ベルトなどに油が付着してスリップしている	油などで汚れている部分を四塩化炭素(薬局で売っています)などで、きれいに清掃する
	ベルトが伸びている	ベルトを交換する

スピーカーからモーター音が聞こえる	プレーヤー組立の際に輸送用固定ネジ2本を取り除いていない	輸送用固定ネジを取り除く (*輸送用固定ネジの取外し)の項参照)
再生音がはずんでいて聴きにくくまたは、“チリチリ”“パチパチ”という音がして煩わしかったり、特に高音域がはずんで汚ない	プレーヤーが水平でなく傾いている	水平に設置し直す
	針先にホコリなどが付着している	針先掃除ハケできれいにする
	針先が磨耗している	針先を交換する
	レコード自体が傷んでいたり、ホコリやゴミがついている	レコードを新しいものと交換してみる
	針圧が軽すぎるか、重すぎる	使用カートリッジの適正針圧に調整し直す
	接続しているアンプの高音(TREBLE)を上げすぎている	高音(TREBLE)をFLATポジションに戻してみる

レコード演奏のとき、“ブーン”というハム音が入る	プレーヤーのアース線をアンプのアース端子に接続していない	アース線をアース端子に接続する (接続しない方がいい場合もある)
再生音がふるえたり、ハウリング(“ポワーン”という音)を起して聴きにくい	プレーヤーとスピーカーシステムの設置場所が近すぎたり、不安定で、振動が伝わったり、共振している	しっかりした場所に移したり、スピーカーから遠ざけるなど設置場所を変えてみる
	接続しているアンプの低音(BASS)を上げすぎている(あるいはラウドネスをかけすぎている)	低音(BASS)をFLATポジションに戻してみる (ラウドネスを絞るかOFFにする)
	狭い部屋で極端に再生音を大きくしている	VOLUMEを絞って再生音を小さくする
スピードが切換わらなかつたりする	ベルトをベルト切換ガイドに通していない	ベルト切換ベルトをガイドに通す

サービスのご依頼について

●サービスのご依頼は、お買上げ店、または日本楽器各支店オーディオサービス係へお願い致します。

■支店への持込み修理

故障の場合、出張サービスのご依頼をなさらずに、直接ご自分でお買上店又は最寄りのヤマハ各支店へお持ちいただければ、出張料などの経費の点でお得ですし短期間でおなおしすることができます。裏表紙のヤマハ各支店の住所と電話番号をご参照ください。

■サービスをご依頼される前に

ご使用中に“故障ではないか？”とお思いになる点がございましたら、まず“故障と思われる時には……”の項をお読みになってください。故障ではなく、ご自分でかんたんにおなおしになれる場合もあると思います。（ご依頼をお受けしてお伺いしますと、故障ではない場合でも点検代と出張費を頂戴させていただきます）

■サービスのご依頼

サービスをご依頼なさるときは、お名前、お住まい、電話番号をハッキリお知らせください。またお勤めで昼間ご不在の方は、お勤め先の電話番号、もしくは連絡方法をお知らせください。（ステレオの具合をもう少しくわしくおたずねしたいときや、万一やむをえぬ事情によってお約束を変更しなければならないようなときに、お客様にご迷惑をおかけしなさいですみます）

■故障の状態はくわしく

サービスをご依頼なさるときは、故障の状態をできるだけくわしくお知らせください。またステレオの型番、製造番号などもあわせてお知らせください。（サービスにお伺いする際、あらかじめ補修部品などを手配し、二度お伺いしなければならぬようなご迷惑をおかけすることがありません）

■サービスのお約束

お仕事の関係で昼間ご不在がちなお客様や留守勝ちのお客様は、できるだけお伺いする日時を事前にお約束させて頂

きたく存じます。万一、お約束した日時にご都合が悪くなられましたら、できるだけおはやくご連絡くださるようお願い致します。（事前にご連絡をいただきませんと、ご不在の場合でも、出張料を頂戴いたしますので、ご注意ください）

■保証期間の1ヵ年を過ぎましても有償にて責任をもってサービスを実施致します。尚補修用性能部品の保有期間は8年となっております。

■万一お買上店でのサービスについてのご不満又は製品の不調や疑問がございましたら、ご面倒ではございますが、下記ヤマハ各支店オーディオサービス係にご連絡くださいますようお願い致します。

■各支店住所（オーディオサービス係）

本 社・〒430	浜松市中沢町10-1(ステレオサービス課) TEL (0534)61-1111(大代表)
東京支店・〒104	東京都中央区銀座7-9-18(パールビル内) TEL (03)572-3111
大阪支店・〒564	吹田市新芦屋下1-16 TEL (06)877-5151
名古屋支店・〒460	名古屋市中区錦1-18-28 TEL (052)201-5141
九州支店・〒812	福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL (092)431-2151
北海道支店・〒060	札幌市中央区南十条西1-4(ヤマハセンター内) TEL (011)281-6111
仙台支店・〒980	仙台市一番町2-6-5 TEL (0222)27-8511
広島支店・〒731-01	広島市祇園町西原862(技術センター) TEL (08287)4-3787
浜松支店・〒430	浜松市鍛冶町122 TEL (0534)54-4111

日本楽器製造株式会社

本社・工場	〒430・浜松市中沢町10-1 TEL・0534(61)1111	神戸店	〒650・神戸市生田区元町通り2-188 TEL・078(321)1191
東京支店	〒104・東京都中央区銀座7-9-18/パールビル内 TEL・03(572)3111	四国店	〒760・高松市丸亀町8-7 TEL・0878(51)7777
銀座店	〒104・東京都中央区銀座7-9-14 TEL・03(572)3111	名古屋支店	〒460・名古屋市中区錦1-18-28 TEL・052(201)5141
渋谷店	〒150・東京都渋谷区道玄坂2-10-7 TEL・03(463)4221	九州支店	〒812・福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL・092(431)2151
池袋店	〒171・東京都豊島区南池袋1-24-2 TEL・03(981)5271	福岡店	〒810・福岡市中央区天神1-11/福岡ビル内 TEL・092(721)7621
横浜店	〒220・横浜市西区南幸2-15-13 TEL・045(311)1201	小倉店	〒803・北九州市小倉区魚町1-1-1 TEL・093(531)4331
ジョイナス ヤマハ店	〒220・横浜市西区南幸1-5-1 TEL・045(311)6361~4	北海道支店	〒060・札幌市中央区南十条西1-4/ヤマハセンター内 TEL・011(512)6111
千葉店	〒280・千葉市中央4-2-1/まつだやビル内 TEL・0472(24)6111	仙台支店	〒980・仙台市1番町2-6-5 TEL・0222(27)8511
大阪支店	〒564・吹田市新芦屋下1-16 TEL・06(877)5151	広島支店	〒730・広島市紙屋町1-1-18 TEL・0822(48)4511
心斎橋店	〒542・大阪市南区心斎橋筋2-39 TEL・06(211)8331	浜松支店	〒430・浜松市鍛冶町122 TEL・0534(54)4111
梅田店	〒530・大阪市北区梅田1/阪神百貨店5階 TEL・06(345)4731	海外支店	ロスアンゼルス・メキシコ・ハンブルグ ・シンガポール・フィリピン